

# おとなりさん

地域みんなでたすけあって、ささえあって

東札幌・菊水  
北白石・菊の里  
第4号

2019年9月発行

## 生活支援体制整備事業でお手伝いする

### 高齢者の日常生活のちょっとしたお困りごととはどんなこと？

生活支援体制整備事業では、地域に住んでいる高齢者の日常生活の困りごとを把握し、それに対して、介護保険サービスでは提供できない軽度な生活援助（掃除や買い物、ゴミ出し、電球交換など）を地域で気軽に受けられる体制づくりを行っております。

白石区社会福祉協議会では、令和元年4～7月にかけて、各地区の民生委員の皆様にご協力いただき、主に、おひとり暮らしの高齢者に対する「日常生活の困りごとに関する調査」を実施させていただきました。平成29年に先行して調査した北白石地区を除く、7地区・合計1,827名の皆様にご協力いただきました。

白石区の在住のひとり暮らしの高齢者は、どんな困りごとを抱えているのでしょうか。アンケート結果にもとづきご紹介したいと思います。

#### 「民生委員訪問対象に対する生活支援ニーズ調査2019」

調査期間：令和元年4月から7月  
回収率：44.1%（総回答数 1,827名）

対象者：白石区民生委員の訪問対象者（白石区内にお住まいの高齢者）  
調査方法：民生委員を通じた調査表の配布

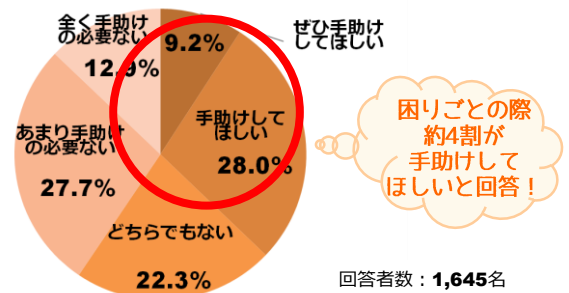


**質問 1** 日常生活で困っていることはありますか？  
(複数回答)

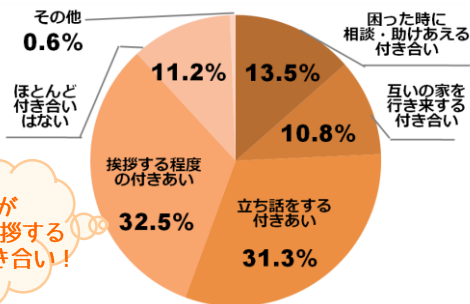
1位	玄関前の雪かき	301名
2位	電球交換等の作業	212名
3位	家具の移動	160名
4位	買い物	152名
5位	荷物を持つ	130名

回答者数：1,007名

**質問 2** 日常生活で困ったことがあった時、近所の方に手助けをお願いしたいですか？(単数回答)



**質問 3** 近所付き合いの程度は？  
(単数回答)



#### ご近所づきあいと困りごとの際の助けあい活動の関係について

	困った時、近所の方に手助けをお願いしたいか	手助けしてほしい	どちらでもない	手助け不要
困った時に助け合える	54.9%	9.9%	35.2%	
互いの家を行き来する	51.5%	16.6%	31.9%	
立ち話をする	38.9%	23.1%	38.1%	
挨拶する程度	28.7%	26.8%	44.5%	
ほとんどない	19.2%	28.0%	52.7%	

つきあいの深さ ↑

今回の調査では、「玄関前の雪かき」が、困りごとの1位という結果に。回答された方のうち7割が女性であったことも影響してか、「電球交換」や「家具の移動」といった高齢の女性が苦手分野が上位となっています。また、「日常生活の困りごとがあった場合、近所の方に手助けを依頼したいか」という問いには、全体の約4割が「はい」と回答。特に、困ったときに相談・助けあったり、互いの家を行き来する付き合いがあるご近所関係の中では、日常困りごとを抱えた際に助けの声をあげられる結果も改めて確認できました。調査を通じて、ご近所関係の深さが助け合い活動にとって重要であり、日頃挨拶のみの関係や立ち話をする関係から一歩進んだご近所づきあいが、今後求められる支えあいの地域づくりの近道となるのではと考えさせられる調査となりました。今後は、この調査でいただいた声をもとに、白石区のニーズに沿った事業を展開してまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。

# 高齢になっても安心な支え合いの地域づくりの一例をご紹介します!

少子高齢化がすすむ今日、住民参加による支え合いの仕組みづくり、地域づくりが目指されています。具体的に、元気なうちはもちろん、介護が必要な状態になっても地域で役割を持ち続けられる住民主体の活動の機会・場づくりをめざし、このような活動が日常生活における困りごとへの支援や介護予防などの活動にも自然につながっていくという視点に立った取り組みが求められています。

本号では、この活動の実践に向け活動されている北白石地区の取り組みの一例についてご紹介したいと思います。

## 福祉の電話相談室で 高齢者の困りごとの把握

北白石  
地区

北白石地区では、地域が主体となって、平成30年より「北白石地区高齢者福祉計画」がすすめられています。

この計画に基づき、平成30年10月に、地域における困りごとの相談窓口となる福祉の電話相談室「ふれあい」を立ち上げました。日頃の関係づくりを基に地道な広報活動をすすめながら、開設して10か月で49件の相談件数と、地域に徐々に浸透してきています。この相談室の開設により、高齢者がどこに相談してよいかかわからないことを相談できる場所ができたこと、地区と行政・専門機関がこれまで以上に連携を図ることができたことがよかった点としてあげられています。

今後は、こちらに寄せられた困りごとを地域で解消するための有償ボランティアの立ち上げが計画されており、今後の支え合い活動の仕組みをどのように築いていけるかがとても注目されます。

### 運営のポイント

相談力向上

相談室の継続的なPR

### 福祉の電話相談室「ふれあい」

◆相談日時：月・水・金 10 - 13時  
(祝祭日・年末年始除く)

◆相談員：2名体制  
(連合町内会、福まち、民生委員児童委員など14名のスタッフの当番制で対応)

◆相談料：無料  
※相談者及び相談内容などのプライバシー厳守対応



## 地域の声と地域の事業者がつながり 高齢者の困りごとの解消

北白石  
地区

平成29年に、北白石地区では、地区内にお住まいの高齢者708名に参加いただき地域課題を抽出するアンケート調査を実施しました。

このアンケートにおいて、日常生活における困りごとを調査したところ、「雪かき」に続き「健康」が困りごととしてあげられました。この結果を踏まえ、「北白石地区高齢者福祉計画」においても、健康づくり(介護予防)が目標としてかけられ、福まち主催の高齢者サロンでも、地域の介護事業所や薬局など地域貢献に意欲的な団体と連携した、介護予防のプログラムがとりいれられています。このように、地域の困りごとを把握し、地域資源とマッチングする活動を通じて、介護予防をすすめるとともに介護が必要な状態になっても地域で役割を持ち続けられる住民主体の活動の機会・場所づくりを行う事例としてご紹介いたしました。



### 北郷ふれあいきいきサロン

◆開催日時：月1回 10時~11時半

◆開催場所：北郷東会館/北郷会館/北郷瑞穂会館

## 地域支えあい活動の担い手養成講座開催のご案内

### 白石区生活応援ボランティア講座

開催日：10月17日(木) 10:30~15:00

場 所：白石区老人福祉センター(栄通6丁目19-20)

定 員：15名

申 込：札幌市白石区社会福祉協議会(☎861-3700 担当：佐竹)  
まで、お早目にお電話にてお申し込みください。

### こんな方におススメ!

地域のために何かやってみよう、身近な活動からはじめてみようと思われている皆様におすすめの講座です!

生活支援コーディネーター  
佐竹



高齢者の生活に役立つ情報誌「みんなの暮らしお役立ち手帳」はこちらへアクセス  
[sapporo-shakyo.or.jp/about/shiroishi-shakyo/livelihood/tecyo.html](http://sapporo-shakyo.or.jp/about/shiroishi-shakyo/livelihood/tecyo.html)

お問い合わせ先 社会福祉法人 札幌市白石区社会福祉協議会

〒003-8612 札幌市白石区南郷通1丁目南8-1 白石区複合庁舎1階

TEL 011-861-3700

FAX(011)866-8999

担当：碓井(うすい)

